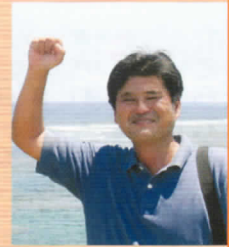


名護市  
議会議員

# 東恩納たくま



発行：東恩納たくま 名護市字瀬高48 電話・FAX：0980-55-8587  
携帯：090-9786-9471 ホームページ：www.takumahigashionna.jimdo.com

議会報告第20号

## ヤラともひろ衆議院議員と対談しました。

**たくま** 名護の東海岸まで足を延ばしていただきありがとうございます。ございませう。改めて、瀬高の浜から埋め立て予定の大浦湾を眺めどのように感じましたか。

**ヤラ** 水面に反射する太陽のキラキラ。子守歌のようなさざ波。子供の遊び場だった私たちの豊かな海を奪わないでほしい。地球温暖化で異常気象が全世界を襲う今、命のゆりかごであるサンゴは未来からの預かり物です。大浦湾に土砂を積んだ大型船が行き来する光景を見ると、島の宝を傷つけられている悔しさが募ります。

**たくま** ホープスポットにも選ばれたこの地域は、どのような可能性があるとお考えですか？



東恩納たくま名護市議会議員 議会報告

東恩納たくま名護市議会議員 議会報告

東恩納たくま名護市議会議員 議会報告

**ヤラ** とにかく子や孫たちにこのまま引き継ぐべき自然です。現代人の心を癒すものはこの世の中にそう多くはありません。ハワイの保護地区のように自然と人間がシンクワできる空間を保存することで様々な可能性が見えてくると思います。

**たくま** 沖縄の民意や沖縄の基地問題について、霞が関の官僚や与党国会議員はどのように理解しているとお考えですか。

**ヤラ** 沖縄の悩みや苛立ちは分かるけれど、安全保障なので「仕方ないよね」ということです。この「仕方ない」は、日本国中に刷り込まれています。安全保障という呪文のような言葉で思考停止に陥っている状態です。

**たくま** 国の強硬姿勢や防衛局の宣伝工作で、地元でも、辺野古・大浦湾に基



地が造られてしまうのではないかと、諦めの声も聞こえてきます。諦めることなく新基地建設をどのような道筋で止めていくか、お考えをお聞かせください。

**ヤラ** 論理的に考えることができれば、この馬鹿げた破壊行為を止めることは可能だと思っています。現在の政府は科学をしない、ということはコロナ感染症対策で明白になりました。他方、軍隊は合理的に動きます。辺野古にはその合理性が皆無です。滑走路は短くて、米会計検査院も緊急時の運用が困難だと指摘しています。政府は普天飛行場の「1日も早い危険性除去」のため、「辺野古が唯一の選択肢」と言いながら、工期は十二年という大いなる矛盾。マヨネーズ状の軟弱地盤が見つかり、完成するかどうかもわからない。

(四ページに続く)

## 東恩納たくまの一般質問

去る六月議会での一般質問の要約を記載します。

### ○基地問題について

#### ①美謝川の切替えについて

市は、法定外公共物管理条例に基づく協議は必要ではないとの見解ですが、美謝川は大浦湾に流れている、大浦湾が埋め立てられ、自然の状態では流れなくなる、そのことについて防衛局と協議を行ったのですか。

#### 市回答

今回は美謝川についての説明はされていない。条例上、協議が必要な行為を防衛局は行うということであれば、しかるべき時期に協議が行われるものと認識している。

#### たくま

ダム の 東 側 に 洪 水 吐 の 付 け 替 え 工 事 を 行 う 場 合、土 地 を 買 わ な い と 工 事 は で き な い は ず だ と 思 っ て 名 護 市 と し て は、き ち ん と (土 地 を) 購 入 す る よ う に、要 求 す べ き で は な か っ た の で す か。

土 地 の 購 入 を し な い ま ま に 賃 貸 借 契 約 だ け で 工 事 を 進 め て 良 い と いう 判 断 は、市 長 が し た の で す か？

#### 市長

美 謝 川 の 切 り 替 え に つ い て は、適 切 に 法 令 に の つ と っ て、判 断 を す る と いう 事 で、そ の よ う に 手 続 き さ れ て い る。

#### たくま

美 謝 川 の 切 り 替 え が 無 け れ ば、大 浦 湾 側 は 埋 め 立 て ら れ な い。適 切 に 対 応 し た、と お っ し ゃ い ま し

た が、適 切 で は な い。公 共 事 業 を す る 場 合 は、必 ず そ の 土 地 を 買 わ ね ば 公 共 事 業 は で き な い。道 を つ っ くる 場 合 は 名 護 市 だ っ て そ の 土 地 を 購 入 し て か ら 初 め て 工 事 が 進 め ら れ る わ け で し ょ う。な ぜ 土 地 を 購 入 す べ き だ と 言 わ ず に、賃 貸 借 契 約 で 済 む と いう 踏 み 込 ん だ 判 断 を し た の で す か。市 長 は こ れ ま で、辺 野 古 の 新 基 地 建 設 に 関 し て は、「国 と 県 の 問 題 で あ り、注 視 し て い く」と 言 っ て き ま し た。そ の 一 方 で の こ の 判 断 は、工 事 を 進 め る 判 断 を 一 歩 進 め た、と いう こ と で す か。

#### 市長

沖 縄 県 知 事 か ら 承 認 を 得 た 工 事 の 実 施 に あ た り、手 続 き の 有 無 に つ い て、沖 縄 防 衛 局 か ら の 照 会 に 対 し て、土 地 の 賃 借 内 容 を 確 認 し た 上 で、市 の 客 観 的 な 条 例 解 釈 を 示 し た も の で、そ の 他 に 何 ら か の 判 断 を 示 し た も の で は な い。

#### たくま

元 知 事 が 承 認 し、工 事 が 進 め ら れ て い る の で、反 対 す る 理 由 は な い と いう 事 で す よ ね。

そ う で あ る な ら、今 後、今 の 知 事 は 承 認 を 取 り 消 す こ と も あ り ま す。そ の 時 は 知 事 の 意 向 に 沿 っ た 形 で 行 政 運 営 を や っ て い く と いう 事 で よ ろ し い で し ょ う か。

#### 市長

今 後 に つ い て は、そ の 状 況 に よ っ て、ま た 判 断 し て い く。

② キ ャ ン プ ・ シ ュ フ ー プ を 陸 上 自 衛 隊 と 共 同 使 用 す る こ と に 極 秘 合 意 し た と の 報 道 に 対 し て、三 月 議 会 で、口 頭 で は な く 文 書 で の 確 認 を 求 め た と こ ろ、検 討 す る と の 答 弁 で し た。そ の 後、文 書 で の 確

認 が 取 れ ま し た か。

#### 市回答

検 討 し た 結 果、国 会 や 記 者 会 見 に お い て、「現 在、水 陸 機 動 団 を キ ャ ン プ ・ シ ュ フ ー プ に 配 備 す る 計 画 は 有 し て い な い」と の 防 衛 大 臣 の 発 言 が 確 認 で き て い る の で、文 書 で の 確 認 は 必 要 な い と 考 え て い る。

③ こ の 頃、市 街 地 上 空 に も 米 軍 の 航 空 機 が 頻 繁 に 飛 行 し、市 民 か ら 騒 音 へ の 苦 情 や 墜 落 の 不 安 が 寄 せ ら れ て い ま す。市 長 の 見 解 を 伺 い ま す。

#### 市長

市 と し て も、市 街 地 上 空 に お け る 航 空 機 騒 音 が 増 加 傾 向 に あ る と 認 識 し て お り、昨 年 度、騒 音 測 定 器 の 更 新 に 合 わ せ て、市 民 会 館 屋 上 に も 測 定 器 を 新 た に 設 置 し、市 街 地 の 騒 音 測 定 に も 取 り 組 ん で い る。航 空 機 等 の 騒 音 へ の 苦 情 に つ い て、そ の 都 度、沖 縄 防 衛 局 に 申 し 入 れ て お り、ま た、昨 年 八 月 以 降 は、夜 十 時 か ら 朝 七 時 ま で の 夜 間 騒 音 が 確 認 さ れ た 際 に は、苦 情 の 有 無 に か か わ ら ず、沖 縄 防 衛 局 に 対 し 申 入 れ を す る こ と と し て い る。

#### ○労働者協同組合法について

昨 年 十 二 月 に 全 会 一 致 で 可 決 さ れ た 議 員 立 法「 労 働 者 協 同 組 合 法 ( 労 協 法 )」 が 二 年 後 に 施 行 さ れ ま す。こ の 法 律 は、ウ チ ナ ー グ チ で 言 う ユ イ マ ー ル や イ チ ヤ リ バ チ ョ ー デ ー の 精 神 が 現 れ て い る と、私 は 思 っ て い ま す。こ の 法 律 が 成 立 し た 意 義 を 地 方 自 治 体 と し て、ど の よ う に 捉 え て い ま す か。

#### 市回答

労 働 者 協 同 組 合 法 で は、各 人 が 生 活 と の 調 和 を

保ちつつ、その意欲及び能力に応じて就労する機会が必ずしも十分に確保されていない社会の現状等を踏まえ、「多様な就労機会の創出」、「地域における多様な需要に応じた事業」が行われることを促進し、もって「持続可能で活力ある地域社会を実現」することを目的としている。同法では、法人設立には組合員が「出資・経営・労働」の基本原則の3つの役割を担い、組合員が自ら出資した事業に従事し、事業運営に意見が反映されることでやりがいや生活との調和を保ち、年齢などを問わず意欲と能力に応じた多様な働き方ができることから、新たな就労機会の創出につながる。また、少子高齢化や過疎化などによる地域における多様な需要に応じた事業の取組が促進されることが期待されている。法人設立にあつては、所官庁の許可や認証はなく簡単な手続で設立できることから、市としても、地域に貢献できる事業に自ら従事することで、地域課題を解決するための新たな法人の形態による新しい働き方の一つであり、広く活用されていくものだと考えている。

### たくま

持続可能地域社会の構築に向けてという事で、例えばフーカーズコップという民間の団体は、積極的に、介護や子育て支援など、特に福祉の分野で地域を支える仕事を担ってきて、全国で数万人が働いているそうです。これまで福祉の手がなかなか届かなかつたところにも、そういう団体の知恵やネットワークが必要となってくると思うのですが、福祉部としてはどの様な認識をお持ちですか。

### 市回答

福祉分野では、NPO法人や民間団体とも連携が

必要となつてきている。こども食堂や、学習支援教室などの運営を民間団体に現在委託している。

### たくま

この法律ができたことを契機に必要とされているところに、より支援が届くのではないかと期待していますので、ぜひ福祉部の方々もこの法律に注目していただきたいと思えます。

### 〇市営市場について

二月議会で空き店舗の募集は随時募集に切り替え、選定基準を緩和し、テナント会と連携して空き店舗解消に対応したいとの答弁でした。その後の空き店舗の解消状況を説明してください。

### 市回答

三月議会において報告した空き店舗2区画につきまして、入居が決定している。現在、生鮮・食品店舗一区画が空き店舗となっているが、問合せがあるため、今後、入居につなげられるよう引き続き支援を行って行きたいと考えている。

### 〇コロナ支援について

前年度は名護市独自の「名護市事業者緊急支援金事業」を行いました。給付実績は四十六%との回答でした。市としてどのように評価していますか。また今後も事業者に対しての支援事業が必要だと考えますが、商品券以外で、名護市事業者緊急支援事業を引き続き行うのか伺います。

### 市回答

名護市事業者緊急支援金事業の最終給付実績は、当初予算算定件数二百に対し、九百六十三件となつている。申請された九十九、五%の事業者が給付を受けているので、影響の大きかった業種への支援にはつながつたと考えている。今後は、国

において、「月次支援金」や、沖縄県においても観光事業者を対象とした「観光関連事業者等応援プロジェクト」による支援も計画されているので、そちらを活用するよう、対応していきたいと考えている。

〇畜産はいし物を活用したメタン発酵処理による地産地消事業の事業可能性調査及び事業計画の策定について、

今後、ごんさ処理の液体を堆肥にするためのコストや関連事業者との課題があるとの答弁でしたが、その後の検討結果について、また、これまでに要した予算額について伺います。

### 市回答

消化液の液肥利用促進に係る肥効分析やほじょうに試験的にまいての生育調査を実施するための事業における予算の確保が難しいことから、3月定例会の答弁から特段の進捗はない。

これまでに要した予算は合計で約3200万円となつている。今後、ガスの発生量が少ないこと、収集コストが高いこと、液肥をどの様に使うのかという課題を、調査して行きたいと考えている。

### たくま

バイオマス発電についてはまだまだ課題もあると思うのですが、これまでに3200万円も使っているわけですから、ぜひこれを成功に導いて、農家の皆さんの役に立てていただきたいと思えます。



©沖縄ドローンプロジェクト

## 大浦湾に大型船が出入りし 土砂を運んでいる

(二ページの続き)  
仮に埋め立てが終わっても、不同沈下するため、ジャッキアップを続ける「欠陥品」です。

実態として、現在行われている普天間の海兵隊の地上部隊との連携訓練は、5、6機の航空機があれば足りるし、飛行訓練なら他県でもできる。

**たくま** だから、国防の為に言って、沖縄に基地を集中させることは欺瞞です。まして辺野古・大浦湾の貴重な海を埋め立てて新たな基地を造ることとは沖縄差別でしかない。

**ヤラ** そつです。合理的に考えれば、「唯一の選択肢」が嘘っぱちであることはすでに判断できます。しかし現在の政治やメディアではこうしたオルタ

ナティブの発想すらありません。この国の思考停止こそが沖縄の悲劇でしょう。

**たくま** 仕方がないという、思考停止状態をやめさせるには？

**ヤラ** 政権交代で国民の手に政治を取り戻す事が、唯一の道だと確信しています。

**たくま** ヤラさんが主張してきた政権交代が今、現実味を帯びてきました。まずは次の衆院選で、ヤラともひろ議員の再選を勝ちとりましょう。そしてデニー知事とともに沖縄の声を国に届けて下さい！

**ヤラ** 将来的には沖縄から軍事基地をすべて撤去させ、玉城デニー知事が主張している、沖縄を「平和のバッファゾーン(緩衝地帯)」にすることを実現させたいです。

**たくま** 全く同感です。私も平和のバッファゾーンを一緒に目指します。今日は本当にありがとうございました。

## 岸本洋平市議 市長選への立候補表明

去る八月十七日 岸本洋平氏(四十八)が、来一月二十三日に行われる市長選挙への出馬表明をしました。

岸本氏は「基地問題は環境問題でもあり、大規模な環境破壊は許されない。生物豊かな辺野古・大浦湾の海を守り、立場の違いや主義主張を乗り越えて、誇りある豊かな名護市を築いていく」と決意を語りました。



出馬表明する岸本洋平氏

岸本氏は「市民がもし続けてきた『まちづくりにへの情熱』と『自由と平和を愛する心』を受け継いでいく」と表明。当選後に取り組む課題については「総合的な国際研修センターの創設を目指し、世界の平和に貢献する名護市を実現する」と述べました。稲嶺進前名護市長も後援会会長として岸本洋平氏をバックアップします。

「思考停止」という言葉がヤラともひろ議員との対談に出ましたが、日本政府にあやつられている今の名護市長も、完全に思考停止状態です。議会であくから基

地問題について追及しても、県と国の問題だと、ロボットのよう同じ答えを繰り返します。当事者意識のない現市長に、名護市の未来を任せるわけにはいきません。来年一月の市長選で岸本洋平氏の勝利を勝ち取り、市民の手に政治を取り戻しましょう。

「うちなーんちゅ、まきていーないびらんどー。」という翁長前知事の言葉を胸に、ふるさつを守るため、ともに頑張りましょう。